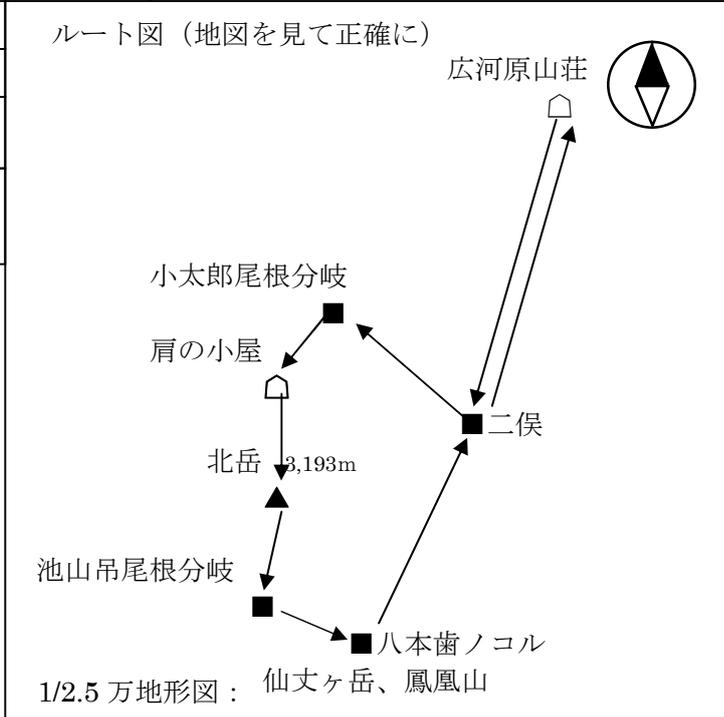


8 月度 例会 山行報告書		報告者	岩崎芳彦	参加 メンバー	岩崎 芳彦 津上 吉五郎 (部外)
		報告日	'09.9.06		
山城	南アルプス	山行日	平成 21 年 8 月 24 日～		
山名	北岳		平成 21 年 8 月 26 日		

山行目的	写真撮影・他	コースタイム (天候：天気図記号)
------	--------	-------------------

配布先
総会参加数
山行: 1
リーダー
原紙: 会事務局



*8月24日天気：晴れ
 自宅発：7：00
 奈良田P着 11：10
 奈良田バス停発 13：00
 広河原バス停着 13：50
 広河原山荘着 14：00
 8月25日天気：晴れ
 広河原山荘発 5：25
 二俣 7：30～46
 小太郎尾根分岐 9：40～50
 肩の小屋 10：30～11：15
 北岳山頂 12：00～12：30
 肩の小屋着 13：05
 8月26日天気：晴れ
 肩の小屋発 6：15
 北岳山頂 6：51～56
 池山吊尾根分岐 7：20
 八本歯ノコル 7：58
 二俣 9：31
 広河原山荘 11：11
 広河原バス停着 11：23
 広河原バス停発 11：40
 奈良田バス停着 12：30
 奈良田P発 13：00
 自宅着 18：10

〈山行報告〉 8/24 天気が安定することの予報を確認し出発した。東名高速を清水 IC 降り奈良田まで行く。ここからはマイカー規制でバスに乗り換え広河原まで行く。吊橋を渡り標高 1500m の広河原山荘にチェックイン。年寄りの山行故に安全第一で、ここで体を慣らし明日に備える。宿泊客は少なく二人分の場所をもらう。8/25 爽やかな空気の中、山荘前で準備体操をしていよいよ登山開始する。大樺沢沿いの樹林帯を二俣まで行き、ここから右俣の登りに入る。時々ガスで左に見える雪渓が隠れるが、空は抜けるように青い。高山植物の花の時期には遅かったがお花畑はその名残りをを見せてくれる。二俣から 2 時間位で稜線に出る。ここが小太郎尾根分岐点で正面に小太郎山、その向こうにアサヨ峰に連なる稜線を見る。ここから左折して快適な稜線歩きとなる。右側の仙丈ヶ岳は山頂が雲に隠れているがその山容は圧倒するものがある。かつて若かりし頃の冬に皆と登ったことを思い出す。この小太郎尾根分岐から約 40 分で北岳肩の小屋に到着。標高 3,000m の今日の宿である。時間は午前 10 時 30 分。自分の寝る場所を確保して、昼の弁当で腹ごしらえしてから、体調、天気ともよかったので明日の下調べをかね山頂まで行ってみることにした。岩のごろごろした尾根道が続く。山頂着 12 時丁度。念願だった 3,193m だ。記念写真を撮り、展望を楽しんだ後下山。小屋の客は 40 人位。夕食は 5:00。夕焼けは期待したがガスが濃くため。就寝 6:00。明日に備える。8/26 雲海に鳳凰三山が浮かぶ、その向こうから

らの御来光、素晴らしい眺めを小屋の前で見る。6:15 快晴のもと出発。二度目の山頂は 360° の展望。記念写真を 1 枚撮りすぐ八本歯のコルへ下山開始。急勾配のハシゴを下り、コルにつき、バットレスを見たあと、一気に左俣を下る。雪渓は二俣までつながっていたが、夏道は出ていて助かる。二俣からは来た時の道を広河原へもどる。快適な山旅、天気とパートナーに感謝。



〈リーダー所見〉 今年の夏はトムラウシなど山の遭難が目立っただけに、慎重に天気の安定するのを待ち、日程も余裕をもって計画した。これからも、明らかに体力の衰えた高齢者であることを自覚し、安全第一で登山を楽しみたい。

8/26 北岳山頂直下から間ノ岳を望む。稜線の赤い屋根は北岳山荘。

確認 (リーダー)
岩
21/9/06
崎
作成 (報告者)
岩
21/9/06
崎